



進路だより コンパス Compass

種子島中央高校 進路指導部

No.2

(通号 第122号)

令和6年3月25日

平成21年4月27日 第1号発行

第14期卒業生進路決定状況

3月1日に卒業した第14期生の進路が決定しました。

国公立大学・短期大学への進学者は、鹿児島大学・宮崎大学(4)・大分大学・北九州市立大学・鹿児島県立短期大学の8名、私立大学・短期大学については、鹿児島国際大学・鹿児島純心大学・第一工科大学・鹿児島女子短期大学など県内外に合計19名の進学が決定しました。今年度の国公立大学出願者は7名で、出願者数は昨年度に比べて少なくなったものの、共通テストおよび前期日程の受験日まで粘り強く取り組んだ結果、全員が前期日程で出願校への合格を達成しました。合格率100%という素晴らしい結果で今年を締めくくってくれました。専門学校等進学者は25名で、昨年度より7名減少しました。その中で、医療系専門学校進学者数7名(28%)を占めており、例年通り人気が高い傾向は続いています。

就職については、公務員合格者が西之表市役所および鹿児島県警に合格しました。一般企業への就職者は11名でした。県外は、全国的に人気のトヨタ自動車(株)をはじめとして合計5名、県内は、種子屋久高速船(株)や地元の種子島医療センター等に合計6名となっています。一般企業就職者数は昨年より7名増加しました。

令和5年度卒業生進路決定状況

令和5年度	普通科	情報処理科	計
国公立大学	7	0	7
私立大学	12	1	13
公立短大	0	1	1
私立短大	3	3	6
専門学校	14	9	23
公共職業訓練校	2	0	2
公務員	1	1	2
一般企業就職	1	10	11
就職(自己縁故自営)	0	1	1
その他	0	1	1
合計	40	27	67

<進路体験発表会を聞いて>

去る2月15日(木)の4校時に、「3年生による進路体験発表会」が実施されました。3年1~3組の各クラス代表者7名が進路体験発表をしてくれました。

各発表者は各自の進路決定までの取り組みや後輩へのアドバイスなど、具体的な事例を交えた講話やパワーポイントによる説明をしてくれました。1・2年生にとっては、学校生活で関わりがある身近な先輩方の発表ということもあり、興味や関心が大きく、一生懸命にメモを取る様子が見られました。

発表者は学校推薦や総合型選抜での合格者であり、進路先は違うものの、面接練習や小論文指導、そして各教科の個別指導など、自ら主体的に行動を起こすことの重要性を訴えました。先生方や友人など多くの人々の協力を得て良い結果に繋がったとのコメントもあり、1・2年生にとっては大いに参考になる発表内容でした。そして、周囲の人への感謝の気持ちを忘れずに、1・2年生の皆さんが目標を達成できるようにとエールを送って下さりました。在校生の皆さんは、先輩方の発表事例を思い出しながら残りの学校生活を「主体的」に行動しましょう。

発表者	進路先
石井琉生	宮崎大学(農・応用生物科学)
末吉優月	宮崎大学(工・工)
藤崎進	鹿児島県警察官
砂坂大地	福岡福祉会
徳永碧	赤塚学園専門学校
時田晃良	鹿児島県立短期大学
東園清志	種子島医療センター



<進路ガイダンスを終えて>

3月18日（月）に1・2年生対象の進路ガイダンス（島内企業ガイダンス）が行われました。今回のガイダンスは、地元企業で活躍する方々から、直接仕事内容等を聞くことで地元の魅力を再発見し、地元企業を知る機会を得ることを目的に実施されました。

進学等で離島する生徒が多い本校ですが、将来は種子島に戻ってきたいと考える生徒も多くいます。将来、地元就職を検討することを想定し、4年前から実施しています。

ガイダンスは、1部（5校時）で熊毛支庁の協力により、「種子島の暮らしを支える職業人座談会」と題して、地元企業に就職している5名のパネリストの実体験を聞き、質疑応答がありました。生徒からの質問もあり、パネリストはそれぞれの質問に丁寧に答えていらっしゃいました。

2部（6校時）は、事前の生徒希望により、興味のある業種・企業を選択し、その企業担当者から仕事内容や企業概要等、普段の生活では知ることが難しい情報を得ることができたのではないかと思います。自分が参加した業種・企業等の話を聞いて、どのような印象を受けましたか。思い描いていたイメージは正しかったですでしょうか。中にはイメージとは異なっていたと感じた生徒もいたのではないのでしょうか。講演や講座を通して学んだことを、今後の進路選択や進路決定に役立てましょう。



<今年度を振り返って>

今年度は、学校が大きな変化を伴ってスタートした1年でした。1学期始めに、「覚悟」をもって学業に臨もうと伝えました。特に学習については、朝補習の廃止や単元テストの導入など、今までの横並びの学習環境から、各自が個々の状況に応じて主体的に取り組む教育へと変化しました。自ら何をすべきかを探り、そして行動を起こすことが大切であると皆さんに伝えてきましたが、この1年間を振り返って、各自の目標に対してどの程度達成できたでしょうか。各学期の始業式や終業式の進路講話で、皆さんがどの程度取り組んでいるのか質問を投げかけたこともありました。1学期よりも2学期には、意識して様々なことにチャレンジしている生徒が多くなった印象を受けました。3学期はどうだったでしょうか。皆さんの主体性がよりいっそう高まっていることを期待したいと思います。

いずれにせよ、この取り組みが今年度で終わるのではなく、次年度も継続させることが大切です。自分の行動に責任を持ち、結果に責任を負い、全ては自己の行動が結果に繋がることを意識して粘り強くチャレンジすることを願い、令和5年度の締めくくりとします。